

第3回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 大気環境WG 議事概要

【開催日時】 平成20年 9月 24日 (水) 13:00～14:00

【議題】 ・東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果について
・その他

【出席者】 猿田座長、清水委員、時田委員、千葉県、神奈川県、東京空港整備事務所、東京航空局、財団法人港湾空間高度化環境研究センター

【開催場所】 東京空港整備事務所 分庁舎 5階A会議室

【資料】 資料-1 環境監視結果〈大気環境〉の概要について
資料-2-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果報告〈大気環境〉
資料-2-2 同(資料編)

1. 開会挨拶

2. 座長挨拶

3. 議事

3-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視結果について

資料-1～2、参考資料にて、工事の進捗状況、大気環境の監視結果報告について説明を行った。

委員：本事業では、陸上輸送はほとんどなく海上輸送が主になるのか。

事務局：D滑走路の建設工事に関してはほぼ全て海上輸送になる。現空港の工事に関しては、例えば環八の交通量換算で1%相当以下、一日2万台以上の交通量に対して200台強ということで、さほどの影響は無いと判断している。

委員：工事に係る影響というもので考えると、少なくとも陸上の測定局のデータというのはほとんど影響は無いと考えて良いか。

事務局：結果としてはそのように考えて頂いて良い。なお、このデータは、供用後も継続して測定していく予定であり、継続して観測していくところが重要なポイントと考えている。

委員：今後、供用後になると航空機の発着数も増えれば車両台数も増え、羽田全体としてい

第3回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 大気環境WG 議事概要

ろんな面で環境に影響が出てくることが予想される。

委員 : SO₂はかなり低い値で推移しているが、観測の必要があるか。各自治体では、常時監視項目としてSO₂についてはどのように対応しているか。

委員 : 千葉県では、かなり前から常時測定局でSO₂の観測を減らしている。

委員 : 別の課が担当している。

事務局 : 工事中はこの観測項目で継続させて頂き、また供用後にこの項目の必要性についてご相談させて頂きたい。

3-2 その他

資料-3にて、今後の予定についての説明を行った。

以上(終了)